

# 平成29年度 公益社団法人京都市観光協会事業計画

## 平成29年度事業計画重点方針 ～京都市版DMO法人への発展を目指して～

京都市の年間観光客は、平成27年には5,684万人と過去最高を記録し、宿泊客数や観光消費額等においても記録を更新するなど引き続き好況を呈している。(公社)京都市観光協会(以下、「協会」という。)には、この好機を京都経済の発展と地域振興に最大限に生かし、一方で、めまぐるしく変化する情勢に的確に対応することが求められている。

観光庁が全国での設立を推進している「日本版DMO」は、「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役を担う組織と定義されている。これはまさに協会が京都市において中心となって果たすべき役割そのものである。

協会は京都市におけるDMOを目指し、平成28年度には、(公財)京都文化交流コンベンションビューロー(以下「ビューロー」という。)との職員の兼職や国際観光推進事業での連携強化、JR西日本からの出向職員による事務局次長ポストの新設、マーケティング等を専門的に担当する職員の採用など、事業や事務局体制の強化を行い、平成28年8月31日には、「日本版DMO候補法人」として観光庁から認定された。

また、DMOに相応しい組織や機能のあり方について、これまで京都市、ビューローと共に、様々な専門家・有識者への意見聴取や、これを踏まえた京都市との協議を進めてきた。

協会は、京都市における事業者の成長・拡大支援のために、観光政策の事業推進を一元的に担うことができる組織「京都市版DMO」への発展を目指し、その目標年度を平成30年度に設定し、平成29年度は、以下の重点的取組の推進により、更なる組織強化や事業拡充に取り組んでいく。

### 1 京都市版DMOに相応しい組織と財政基盤の確保

近年の外国人観光客の急増等、観光を取り巻く状況が刻々と変化中、情勢の確かな把握とこれに柔軟に対応できる組織、強固な財政基盤が京都市版DMOにとって重要な要素である。

このため、観光に関わるデータ、更には観光振興の情勢変化に影響を及ぼすと考え

られる様々なデータの収集・分析を積極的に実施し、組織運営や事業企画に反映させていく。

また、実施した事業の成果と課題を分析し、次の企画に生かす「P D C Aサイクル\*」を事業の運営管理にしっかりと定着させると共に、新たな課題に柔軟な対応を行うため、会員の裾野の更なる拡大と、自主財源の拡充に取り組み、マーケティングデータの還元など、会員サービス、インセンティブの充実を図り、食・農業、アート、地域等、より幅広い分野での会員勧募を推進すると共に、既存事業の収益性の向上や収益性の高い新規事業の企画に積極的に取り組んでいく。

\* P D C Aサイクルとは

計画 (plan)、実行 (do)、評価 (check)、改善 (act) のプロセスを順に実施する業務管理の手法。

## 2 国際観光推進の取組強化

国際観光推進の取組は、観光案内や情報誌（紙）の発行等、協会での取り組みに加え、近年においては、海外プロモーションやガイド養成等、ビューローが京都市からの委託により実施してきたところであり、京都市版DMOの構築のためには、これらの実施体制を一元化し、両団体に蓄積されたノウハウやネットワークの融合を図ることが必要である。

平成 29 年度には、組織の改編と新たな職員の採用等により事務局体制を強化し、京都市から国際観光受入環境整備のための事業を受託する。また、京都の豊富な文化資源を生かした、着地型の外国人観光客向け企画の充実や、協会の既存の取組との効果的な融合等にも取り組んでいく。

更に、平成 30 年度当初には、従来ビューローが受託していた国際観光誘致等の事業についても実施できるよう、体制整備や関係機関等との協議を進め、国内外の観光振興を一元的に担う、名実ともに京都観光の舵取り役となる京都市版DMOへの移行を目指していく。

## 3 京都の文化資源の魅力の発信

京都は、日本の多くの伝統文化が生まれ、継承されると共に、今日においても革新と創造を続ける、文化が息づく都市である。こうした高い文化性が文化庁の京都移転決定の大きな要素となり、京都観光においても文化こそが最大の魅力として国内外から評価されている。

祭事や伝統芸能、伝統産業、茶道、華道、香道等の伝統文化、更にはモダンアートやアニメ、ゲーム、映画等幅広い分野に亘る、上質で豊富な京都の文化資源を最大限生かした京都の魅力発信のため、連携先のネットワークを更に拡大し、取組の一層の

充実が必要である。

平成 29 年度は、国内外の富裕層をターゲットとした、京都ならではの深みのある伝統文化体験メニューの充実、コンテンツ産業等との連携による若年層京都ファンの獲得等を図るとともに、大政奉還 150 年、池坊 555 年、西陣呼称 550 年、東アジア文化都市等官民の文化イベントとも連携し、効果的な事業の展開やプロモーションに取り組む。

#### 4 地域づくり・課題対応の視点での観光振興

近年の京都観光の好況は、主に海外からの観光客の急増によりもたらされている。しかし、一方で目的地の集中による現地・道路・公共交通機関の混雑、宿泊施設の不足と違法民泊の急増等の課題も生じ、これらに起因する観光客の満足度低下や主に国内観光客の「京都離れ」、市民生活への影響による市民のおもてなし意識の低下などが懸念される状況にある。

中山間地等まだあまり観光客に知られていない、知らされていない地域・エリアや、地域の祭事や食など多様な地域資源の掘り起こしを行い、効果的な情報発信によって目的地の分散と地域振興に寄与することや、「京の夏の旅」「京の冬の旅」を中心とする通年観光実現のための企画、朝観光・夜観光の充実などにより、観光客が訪問する「目的地・時季・時間」の適切なマネジメントに取り組んでいく。

また、様々な地域、様々な年齢層における新たな京都ファン確保に向けた国内誘致プロモーションの更なる充実や、観光の経済効果等観光振興による市民生活へのメリットの「見える化」などを、京都市と共に取り組んでいく。

## 平成29年度事業計画について

### I **観光都市京都の紹介宣伝事業** (公益目的事業会計)

#### 1 JR委員会の活動

JR各社との連携をもとに観光客を誘致するため、JR委員会を運営し、JRグループ各社と共に効果的な誘致宣伝活動を実施する。

##### (1) JR西日本との共同事業「京都・大阪・神戸観光推進協議会」への参画

全国的に定着している“三都物語”キャンペーンについて、JR西日本と連携した誘致宣伝活動を行うとともに、三都市周遊型のツアー企画の造成及び販売活動を推進する。

##### (2) JR東海との共同事業「京都観光宣伝協議会」への参画

最重点市場である首都圏及び東海道新幹線沿線地区から観光客誘致を図るため、JR東海の媒体をはじめ、マスコミを活用した幅広い京都PRを展開すると共に、PRと連動した受入対策を推進する。

##### (3) JR東日本「びゅう京都会」への参画

JR東日本と京都の宿泊施設等を中心に組織された「びゅう京都会」に参画し、情報交換や宿泊客の誘致対策を協議すると共に、受入体制の整備及び強化を図る。

##### (4) JRグループ6社共同キャンペーンの継続実施

昭和54年度より長年に渡り実施しているJRグループとの「京の冬の旅」キャンペーンについて、平成30年度以降も引き続き、JRグループ6社によるDESTINATIONキャンペーンとして実施できるよう要請すると共に、冬季の観光振興を図る最重点事業として取り組む。

##### (5) JR各社との共同宣伝事業の実施

JR各社との相互要請により、観光客誘致につながる効果的な宣伝活動を適宜共同で実施する。特に首都圏での観光客誘致に重点をおいて取り組む。

#### 2 インターネット情報発信の充実

##### (1) インターネットでの観光・会員情報の発信充実

「京都市観光協会ホームページ」を中心に、ビューローが運営するサイトとも連携しながら、観光・会員情報を発信する。

特に、「京都市観光協会ホームページ」においては、閲覧者の目的に合わせた画面設計への見直しや、会員企業情報や過去の発信履歴のデータベース化、新着情報一覧の強調等の検討を行う。

## (2) イベント・年中行事情報のインターネット発信

旅行会社の企画に役立つよう引き続き6ヶ月先の情報を収集し、インターネット上に公開する。

## (3) ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）の活用

世界的に利用者の多いfacebookやInstagram等のSNSを活用し、ビューローとも連携し、京都ファンへタイムリーな情報を発信する。

## 3 誘致宣伝印刷物の作成配布

### (1) 月刊情報誌「京ごよみ」の編集発行

平成25年度より、京都市と共同で発行する月刊無料観光情報誌「京ごよみ」を引き続き発行し、観光客の旅行計画はもとより、全国で開催される京都観光物産展や観光誘致キャラバンでの配布強化、会員はじめ全国の旅行会社、マスコミ機関等での情報発信の手元資料としての活用など、効果的な情報発信に努める。

### (2) ビューローとの連携による外国人観光客向け情報誌の見直しと充実

協会では、平成27年4月から外国人観光客向け英語情報誌「Kyoto Recommends」を年3回定期発行し、外国人観光客におすすめの観光エリアの提案やニーズに即した京都のみどころの紹介のほか、「食べる」「買う」「体験する」の各分野で会員施設を紹介し好評を得ているが、今後、国際観光誘致体制をビューローと一元化を図ることを視野に入れ、ビューローと連携し、より有効な誘致宣伝物の発行について検討を行う。

### (3) 誘致ポスターの作成配布

四大大行事をはじめ、観光イベントのポスターを作成し、JR各社の全国主要駅、私鉄各社の主要駅を中心に掲出すると共に、旅行会社、京都展等に適宜効果的に配布する。

## 4 京都観光推進協議会への参画

京都市および関係業界で組織する京都観光推進協議会に参画し、修学旅行及び一般観光客誘致対策に重点を置いた活動を推進する。

## 5 全国各地の「京都展」での誘致宣伝活動

首都圏はじめ全国各地の主要都市で開催される「京都展」の共催や後援を行い、会場でのポスターの掲出及び月刊情報誌「京ごよみ」をはじめとする観光パンフレットや観光案内地図の配布などにより観光客の誘致宣伝活動を実施する。

## 6 京都観光オフィシャルサイト「京都観光 Navi」の受託

京都観光オフィシャルサイト「京都観光 Navi」の運営を京都市から引き続き受託し、利用者のニーズに対応した的確な情報発信を行うとともに機能充実に努める。

## II **京都ブランドの向上を目指す京都観光振興事業** (公益目的事業会計)

### 1 「京の夏の旅」・「京の冬の旅」キャンペーンの実施

夏季観光客誘致キャンペーン「京の夏の旅」、JRグループ6社共同によるdestinationキャンペーンとして全国規模での宣伝展開を図る冬季観光客誘致キャンペーン「京の冬の旅」において、普段見学することのできない文化財を期間限定で特別公開する「文化財特別公開」や公開箇所等を効率よく快適にめぐる「定期観光バス特別コース」の運行の他、京都の歴史文化に触れる体験型イベント等を実施する。引き続き、京の歴史文化に培われた「伝統産業・文化」、旅の時間を有効に活用し、昼間とはひと味違った観光を楽しむ「朝観光・夜観光」、連綿と受け継がれてきた職人の技を楽しむ「京の食文化」といった3つのテーマのもとに特別感のある観光メニューを企画すると共に、新たな対象施設の拡大や地域観光を推進し、観光需要の創出に努める。企画した観光メニュー等を通じて、顧客動向及び顧客満足度を把握し、次年度の「京の夏の旅」・「京の冬の旅」に活かしていく。

また、急速に増え続ける外国人観光客の受入対策を新たに検討し、キャンペーンの充実に努める。

#### (1) 第42回「京の夏の旅」キャンペーンの実施

##### ①第42回「京の夏の旅」文化財特別公開の企画実施

京都ならではの「近代の名建築」や「眺望」「庭園の美」等をテーマに、普段見ることのできない神社や施設等の文化財特別公開を実施する。

##### ②第42回「京の夏の旅」定期観光バス特別コースの企画設定

7月から9月末までの期間、「京の夏の旅」文化財特別公開箇所をめぐるコースや京の夏の風情を紹介するにふさわしい魅力ある特別観光コースを企画設定し、期間中運行する。

##### ③参加体験型イベントの企画実施

観光客のニーズに応えるため、京の奥深い魅力に触れる京都「千年の心得」をはじめ、京の食文化にスポットを当てた「食遊菜都」や京の伝統文化や伝統

工芸を身近に感じる体験型素材を集めたキャンペーン「京のたしなみ」など、参加体験型のイベントを企画実施すると共に、「伝統産業・文化」「朝観光・夜観光」「京の食文化」など、新たな観光旅行需要の創出に向けた企画や外国人観光客にも対応するイベントの実施等、キャンペーンの充実を図る。

また、京都の新たな夏の風物詩として定着してきた「京の七夕」事業とも連携し、より一層の観光客誘致に努める。

#### ④協賛イベントの実施

宿泊・観光施設との連携により観光客に対するサービスの充実を図り、魅力あるイベントなどを実施すると共に、6月24日、25日に開催される恒例の観光イベント、「都の賑いー京都五花街合同公演ー」（主催：京都花街組合連合会、京都伝統伎芸振興財団）に協力する。

### （2）第52回「京の冬の旅」キャンペーンの実施

#### ①第52回「京の冬の旅」非公開文化財特別公開

～秘められた京の美をたずねて～

平成30年が「明治維新150年」に当たり、また大河ドラマでは「西郷隆盛」を題材に放映が予定されていることから、西郷隆盛や幕末、明治維新を中心に普段見ることのできない選りすぐりの文化財を期間限定で公開する。

#### ②第52回「京の冬の旅」定期観光バス特別コースの運行

「京の冬の旅」非公開文化財特別公開箇所をめぐるコースや京の食文化をあげようコースのほか、朝の風情を満喫する「朝のコース」、学びの要素を取り入れた「大人の修学旅行コース」に加え、28年度より新たに運行を開始した「京都の冬の宵を楽しむ夜コース」等の特別コースも引き続き企画すると共に、魅力あふれる特別観光コースを企画設定し、定期観光バスの魅力向上に努める。

#### ③参加体験型イベントの企画実施

京の冬ならではの魅力ある参加体験型イベントとして、京の奥深い魅力に触れる京都「千年の心得」、京の食文化にスポットを当てた「食遊菜都」や京の伝統文化、伝統工芸を身近に感じる体験型素材を集めたキャンペーン「京のたしなみ」等参加体験型のイベントを企画実施すると共に、「伝統産業・文化」「朝観光・夜観光」「京の食文化」に重点を置いたイベントや外国人観光客にも対応するイベントなど、キャンペーンの充実を図る。

#### ④協賛イベントの実施

明治維新150年を記念し、幕末の歴史舞台を訪ねるツアーや、京都の近代

化の足跡を巡る企画を実施する。

引き続き「京都温泉めぐり」キャンペーンを実施し、宿泊、観光施設との連携により観光客に対する温泉の魅力のPRを図る。

## 2 「京の夏の旅」「京の冬の旅」の誘致宣伝展開

### (1) JR各社媒体による誘致宣伝等

「京の夏の旅」・「京の冬の旅」の誘致ポスターを作成し、全国のJR主要駅に掲出すると共に、PR用パンフレットについても、JR各社との連携により全国の主要駅等で配布する。

### (2) 関西私鉄各社媒体による誘致宣伝等

「京の夏の旅」・「京の冬の旅」の誘致ポスターを作成し、関西私鉄各社の主要駅に掲出すると共に、各社媒体での記事掲載等、各社との連携を図る。

### (3) 旅行会社との連携による誘致宣伝

主要旅行会社との連携強化を推進し、各社の京都ツアーパンフレットへのキャンペーンイベントの掲載等、早期情報の提供を図る。

### (4) マスコミ媒体等による誘致宣伝

全国主要地区の新聞、テレビ、雑誌等のマスコミ媒体による宣伝活動を推進すると共に協会ホームページに掲載し、インターネット配信する。

## 3 京都「千年の心得」、「京のたしなみ」等体験プランの充実

### (1) 京都「千年の心得」事業の実施と通年型観光の推進

平成21年度より実施している京都「千年の心得」事業の拡充を図ると共に、「京の伝統産業・文化」「京の朝観光・夜観光」「京の食文化」に重点を置いた観光メニューの企画や旬の観光素材を活用した通年型の情報発信など、京都ならではの魅力に出会うことのできる厳選された観光プランを京都市と共同で企画し、幅広い客層へのアプローチも見据えた更なる誘致推進を図る。

### (2) 京の体験キャンペーン「京のたしなみ」事業の実施

平成23年度より職人や文化人の指導解説により、京都の伝統文化、伝統工芸の魅力に触れることのできる体験型素材を集めたキャンペーンとして取り組んでいる「京のたしなみ」事業では、プログラムの更なる充実や会員施設の体験事業のクローズアップを図り、心のゆとりや癒しなど多様化する観光客のニーズに応えるべく、豊かな文化を育んできた京都の町の魅力を発信する体験プランを企画し、京都市の協力のもと、JR西日本と共同で更なる誘致推進を図る。

## 4 特別企画事業の実施

新緑から初夏にかけての京都を彩る「京の青もみじ」にスポットをあてた宣伝活動、紅葉シーズンに先駆け「京の初秋」の魅力の紹介、春秋における文化財特別公開の実施など、端境期を含めた春秋の誘客の展開を強化する。

## 5 修学旅行受入対策の推進

京都を挙げての修学旅行受入対策の一環として実施している「修学旅行パスポート」事業の継続と更なる修学旅行誘致を推進する。

また、平成28年4月より協会が運営を受託する「京都市河原町三条観光情報コーナー」において、修学旅行相談業務の強化や修学旅行向け観光情報発信の充実を図る。

## 6 国際観光客誘致受入の強化<平成29年度新規・充実>

平成29年度は、外国人旅行客受入体制構築支援事業等を京都市から受託すると共に、これまで協会が主体的に実施してきた事業についても、京都市、ビューローとの一層の連携により、効果的な事業の推進を目指し検討を行う。

### (1) ビューローが行うインバウンド誘致事業等への参画

ビューローが行う京都市海外情報発信・収集拠点との連携、国内外旅行博出展や現地旅行会社訪問等、外国人観光客の誘致を推進する。

### (2) 多言語観光情報誌の発行支援と配布

外国人観光客の利便を図り、誘致宣伝に努めるため、民間が発行する情報誌への発行支援を行い、京都総合観光案内所（「京なび」）等で配布を行う。

### (3) 観光地図「KYOTO CITY MAP」の作成配布

外国人観光客の散策観光に便利な外国人観光客向け観光地図（英語、中国語繁体字・中国語簡体字・ハングル）を引き続き作成し、観光案内所や宿泊施設、関西空港等で配布する。

### (4) 音声観光ガイドの配信

スマートフォン等で情報を配信する音声観光ガイド「京都フリーウォーク」の英語版を引き続き配信する。

### (5) 多言語によるホームページでの情報発信

協会が運営する多言語ホームページ「KYOTO-MAGOnoTE」と、ビューローの「Kyoto Official Travel Guide」との連携強化、一元化を進め、京都の観光情報等を効果的に発信する。

**(6) ソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS) の活用**

世界的に利用者が多い facebook を活用し、京都ファンへ京都のタイムリーな情報を、ビューローとも連携し発信する。

**(7) 動画情報の発信**

世界での利用者の多い YouTube を活用し、京都の情報を動画で発信する「Lively Kyoto」事業を引き続き実施する。

**(8) 京都の旅の提案**

これまで協会が取り組んできた英語ガイドウォーキングツアーや外国人観光客が京料理と舞妓を体験できるメニューに加え、京都遺産、伝統文化、匠の体験等の素材を富裕層観光客等に向け提案を行う。

**(9) 民間観光案内所との連携**

京都駅をはじめ、各ターミナルや観光エリアに点在する他事業所運営の観光案内所と連携し、情報の収集・共有化や観光案内に関する課題の解決等、京都全体のおもてなしの向上を図る。

**(10) 受入環境整備の強化**

メニューの多言語化の支援やユニバーサルツーリズム等の受入環境整備の推進を図る。

**(11) 外国人旅行客受入体制構築支援事業**

**①外国人観光客向け多言語コールセンター運営事業**

外国人観光客の満足度向上とセーフティネットの構築等を目的に、宿泊施設を対象とする24時間年中無休の多言語コールセンターを、京都府、京都市、滋賀県、大津市、奈良市との共同事業として運営する。

また、VoiceTra4U等のICTによる通訳機能の積極的活用を図る。

**②免税対応支援事業**

全国に類を見ないほどの免税対応支援事業を積極的に展開した結果、京都市内の免税店数は1,300件を超えたが、この大きな成果を上げつつある支援事業について、継続的な実施を行うと共に、伝統産品を中心とする消費の拡大に向け、クレジットカード会社との連携強化など、取組の強化を行い、観光消費拡大による雇用の促進、京都経済の発展を図る。

**③京都市認定通訳ガイド育成事業**

京都観光の専門知識を身に付け、外国語で京都の奥深い魅力を伝えることができる京都市独自の通訳ガイド「京都市ビジターズホスト」について、平成29年度は、第1期生の就業支援及び第2期生の研修・認定を行う。

## 7 MICE 戦略の取組

ミーティング、インセンティブ、コンベンション、イベント/エキジビションの総称である「MICE（マイス）」の戦略の推進は、京都ブランド・都市格の向上、市民生活の活性化、経済波及効果など、社会的経済的両面において京都の都市活力を支え、向上させると共に、京都観光の質の向上に寄与することが期待されている。

これまで取り組んできた「大型国際会議での観光情報の提供」など、京都市、ビューローをはじめとするオール京都の連携強化により、一層のMICE推進を図る。

## 8 まちなか観光の企画推進 — 「歩くほどに奥深い京都」

「歩くほどに奥深い京都」をキャッチフレーズに、公共交通機関の活用を取り入れた歩く観光を提唱し、交通渋滞の緩和に寄与することはもとより、観光客の足がまちなかや商店街へと向かい、美しい町並みや買い物、体験や人々との交流を楽しむ「面の観光」が拡大するよう取組を強化する。

### (1) 音声観光ガイドの配信

平成19年度に、主に iPod 向けに観光音声ガイドの配信を始め、平成22年度にはスマートフォンでも楽しめるようにした観光音声ガイド「京都フリーウォーク」について、継続配信を行う。

### (2) 京都エリアウォーク「京都ぐるり」の実施

市営地下鉄の駅を出発地点とする市民ガイドが案内するウォーキングツアーを引き続き実施し、公共交通機関の利用促進を図ると共に、地域の隠れた魅力の発信に努める。

また、新たなコースを企画し、内容の充実を図る。

### (3) 外国人観光客向けウォーキングイベントの実施

平成19年より実施する外国人観光客向けウォーキングツアーを継続実施し、外国人観光客の受入に努める。

## 9 新たな観光素材の発掘と活用

京都への誘致に結びつく四季折々の、京都ならではの観光素材を新たに発掘し、全国に情報発信することで、リピーターの確保を図る。新たな観光素材を秘める地域の観光振興や京都の産業、歴史や文化と連動した企画提案など、奥深い京都の魅力を体感する事業を推進し、京都への更なる誘客を図る。

### (1) 地域観光の推進

京都市と共に各地域の魅力ある観光素材を発掘し、点を線で結ぶ地域観光を推進する。

### (2) 京都が誇る産業、歴史、文化等を活用した観光推進

各関係団体とのより一層の連携を図り、「伝統産業・文化」「朝観光・夜観光」「京の食文化」に重点を置いた観光メニューの企画など、京都の奥深い魅力に触れる観光を振興する。

### (3) 琵琶湖疏水通船事業の取組

琵琶湖疏水通船は、京都市と大津市を結ぶ沿線の地域活性化につながる新たな観光素材として、復活への期待が高まっている。

平成30年春の事業本格実施に向け、平成29年度中に京都市上下水道局において、国庫補助金や企業協賛、ふるさと納税寄付金制度を活用し、試行事業の船の2倍の定員の新船が建造される予定である。

また、京都市、大津市、びわ湖大津観光協会、京都商工会議所、大津商工会議所、京阪電気鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社と協会で構成する「琵琶湖疏水船下り実行委員会」において、過去の試行事業の成果と課題も踏まえた、事業本格実施時の事業形態、運営体制、採算性確保の方策等について、具体的な検討を進めていく。

## 10 「京の七夕」の実施

京都府・京都市・京都商工会議所等で構成される「京の七夕実行委員会」に引き続き参画し、京都の新たな夏の風物詩として定着させるべくオール京都で取り組む。  
開催期間 平成29年8月5日（土）～11日（金・祝）の7日間（予定）

会 場 <堀川会場>・堀川遊歩道（押小路～一条戻橋）笹飾り、光の友禅流し、  
光の天の川等

<鴨川会場>・鴨川（御池～四条）竹と灯りの散策路、友禅流し等

## 11 京都・花灯路事業の実施

「京都・花灯路」事業を、京都府・京都市・京都商工会議所・京都仏教会・ビューローと共同で引き続き実施し、京都の夜の観光イベントとして内容の充実を図り、冬季観光客、宿泊客の更なる増加を目指す。

<嵐山花灯路 2017>

開催期間 平成29年12月中旬の10日間（予定）

会 場 中の島公園から渡月橋を渡り、天龍寺周辺一帯を通過して竹林の小径を中心とした嵯峨野めぐり散策路と周辺寺院等

＜東山花灯路 2018＞

開催期間 平成30年3月上旬の10日間（予定）

会場 東山山麓に連なる北は青蓮院から円山公園、高台寺公園を経て南は清水寺までの散策路及びその一帯

## 12 三大祭観覧席設置事業および伝統行事等への執行補助

### （1）三大祭観覧席設置事業と宣伝販売促進＜平成29年度充実＞

葵祭・祇園祭山鉾巡行（前祭・後祭）・時代祭の京都三大祭当日に有料観覧席を設置し、観光客の快適さ、利便性および祭の魅力を伝えると共に、団体取扱旅行会社へのセールス活動やマスコミ機関等への報道要請を行う。

また、三大祭観覧席事業をわかりやすく紹介したパンフレットを旅行会社向け・個人旅行者向けにそれぞれ作成・配布し販売促進を行う他、外国人観光客や個人旅行者の要望に沿った観覧席の提供も行う。具体的には、座席位置やサービスに工夫を凝らした「プレミアム席（仮称）」を新設すると共に、外国人観光客の受入拡充のため、28年度に導入した英語による音声ガイド付きの特別席を増席する。

### （2）四大大行事等への執行補助

観覧席事業等の収入をもとに、京都五山送り火を加えた京都四大大行事に対して、安定した執行及び保全を図るために補助金を交付する。

また、主な伝統行事や観光行事に対しても補助金を交付する。

### （3）四大大行事協賛会の運営

四大大行事協賛会の事務局を分担し、募金活動を行う他、補助団体、執行団体と連携し、各協賛会の円滑な運営を図る。

## 13 京都さくらよさこいの実施

「京都さくらよさこい実行委員会」に参画し、春の観光客誘致と、京都市役所前を中心とした京都のまちの環境美化啓発の推進を目的とする「第13回京都さくらよさこい」の開催に協力する。

開催日 4月1日（土）、2日（日）

会場 梅小路公園、岡崎公園など

## 14 大政奉還150年イベント等元離宮二条城を活用した事業への協力

大政奉還150年イベント等、元離宮二条城を活用にした京都市事業等への協力をを行う。

## 15 オール京都の観光振興会議の運営

平成18年にオール京都により設立された京都観光振興会議において、共同事業の検討をはじめ、京都観光関連事業や府市連携による広域観光の調整・推進等について取り組む。引き続き事務局を担当する。

## 16 マーケティング・調査分析事業<平成29年度新規>

### (1) 京都観光総合調査の分析

京都市において毎年実施されている統計調査「京都観光総合調査」の個票データを借り受け分析し、各種事業の展開に反映する。

また、DMOの認定要件である成果指標の算出を行う。

### (2) 京都市域内統計収集・分析強化

平成28年度までビューローが実施してきたホテル統計事業を継承し、京都市域の観光関連事業者の営業状況や稼働状況等に関して、毎月の統計調査を行い、的確な市況や各種事業効果に関する把握を強化する。

### (3) 文化財特別公開来場者アンケート

各種事業において実施している文化財特別公開の来場者を対象にしたアンケート調査を強化し、来場者の属性やニーズの把握を行うことで、更なる誘客を図る。

### (4) ホームページ等アクセス解析

ホームページやSNS等の各種電子媒体の閲覧履歴データの解析を行い、各媒体の情報発信力の強化を図る。

### (5) Facebook フォロワー対象調査

協会のFacebook公式アカウント「京都観光上ル下ル」のフォロワー(2.3万人超)を対象にしたアンケート調査を実施し、入洛の有無に関わらず旅行者の潜在的な需要を広く捉えることで、新規市場の開拓につながる事業企画の材料とする。

## Ⅲ 入洛観光客に対する案内事業 (公益目的事業会計)

京都観光のフロント、コンシェルジュとして、観光客のニーズに応じた的確なサポートを行うことはもとより、混雑緩和や観光客の一層の満足度アップにつなぐため多様な情報提供・情報発信に取り組んでいく。

また、民間の案内所とのネットワークを強化し、情報やスキルの共有に努めると

共に、観光客の意向や目的地、行動の傾向など、情報収集の拠点としても積極的に活用していく。

#### (1) 京都総合観光案内所「京なび」の受託<平成29年度充実>

JR京都駅ビル2階の京都総合観光案内所「京なび」の運營業務を同運営協議会より受託し、年中無休で午前8時30分から午後7時まで、年間85万人もの利用者に対し各種観光案内等を行っている。とりわけ、外国人観光客へはJNTO認定外国人観光案内所制度における最高位の 카테고리3の認定を受ける案内所として、高評価を得ている。

京都市内の案内業務にとどまらず、府内全域の観光案内・情報発信を、多言語・ワンストップで行い、個々の観光客のニーズに応じた的確な情報の提供や、宿泊紹介、交通案内に伴う乗車チケットの提供等に引き続き取り組み、国内外からの観光客の一層の満足度向上に努める。

#### (2) 京都市河原町三条観光情報コーナーの受託<平成29年度充実>

京都市より運營業務を受託し、平成28年4月1日にオープンした河原町三条の朝日会館1階の京都河原町三条観光情報コーナーをまちなか観光の拠点として運営する。常時英語での観光案内を行い、平成29年3月現在、JNTO認定外国人観光案内所制度における 카테고리2の認定申請中である。

会員施設のパンフレットの配架、修学旅行下見の相談、各種チケットの提供のほか、多目的ブースを設置し、授乳や伝統的な慣習等観光客の多種多様なニーズに対応する。

また、飲食店情報のポータルサイトで知られる株式会社ぐるなびとの連携により平成28年12月にコーナー内に開設した「ぐるなび情報ラウンジ」において、観光客の求めに応じて、当協会会員の店舗を中心に飲食店の紹介を行う。

### IV **観光客の利便向上を図る販売事業** (収益事業等会計 [収益])

#### 1 元離宮二条城大休憩所内店舗の運営

平成28年3月にリニューアルオープンした元離宮二条城大休憩所内の店舗の運營業務を引き続き京都市より受託し、物販コーナーとイートインコーナーを運営し、二条城限定のオリジナル商品の開発の他、観光案内業務や集客イベントの開催等を行うことにより、観光客へのサービスの向上に努めているが、今後も魅力ある店舗運営により、二条城への集客増大を図る。

また、平成29年1月に「酒類販売業免許」を取得したことにより、京の銘酒をはじめとする酒類販売にも力を入れ、二条城を京都製品のPR拠点として観光客のニー

ズに応えるべく幅広い商品展開を図ると共に、クレジットカード対応や免税販売、商品やメニューの多言語表記等を引き続き実施し、外国人観光客の利便性、満足度向上に努める。

## 2 有料出版物の販売

観光客の利便に供する有料出版物の窓口販売を推進する。

## V **観光施設等運営事業** (収益事業等会計 [収益])

### 旧三井家下鴨別邸の管理運営<平成29年度充実>

京都市文化財公開施設として平成28年10月にオープンした「旧三井家下鴨別邸」の指定管理者として、下鴨神社、三井不動産レジデンシャルサービス関西、曾根造園及び協会の4者で構成する共同事業体「京都市文化財公開施設運営管理事業受託コンソーシアム」が、引き続き同施設の管理及び運営を行う。

また、同施設の未来へ向けての「保存継承」と観光と連携した「活用」事業の展開による文化財保護への理解、京都の文化・観光の発信、地域の活性化を目的に取り組む。

29年度においては、入場者数の増加と入場者サービスの更なる向上を図るため、葵祭や京都五山送り火等京都の年中行事や当施設の特性を活かしたイベントを企画実施し、魅力ある事業運営に努める。

## VI **共催・後援・会員向け事業** (収益事業等会計 [相互扶助その他])

### 1 会員勧募

協会の組織の強化及び拡充を図り、ひいては京都を挙げての観光振興の推進体制を確立するため、観光関係事業者をはじめ各界の幅広い分野に対し、引き続き積極的な勧募活動を行うと共に、公式ウェブサイトにおいても会員募集を呼びかけ、会員数のより一層の増加を目指す。

### 2 会報の発行

会報誌「京観協だより」については、これまで協会の活動状況や観光案内所の利用

状況、新入会員の紹介等を中心に編集し、年4回発行しているが、平成29年度はこれまで以上に会員との連携を密にすると共に、会員にとって有用性の高い情報の提供を図るための検討を行う。

### 3 会員紹介・PR事業の実施

- (1) JR京都駅ビル内の京都総合観光案内所「京なび」をはじめ各インフォメーション窓口において、会員の施設及び店舗の紹介やパンフレット類の配布を行う。  
また協会発行物やホームページで行事等の情報発信を行う。
- (2) 各言語観光地図を会員の協賛により作成し、京都総合観光案内所「京なび」において配布することにより、会員情報を発信する。
- (3) 会員に対して、情報提供を呼びかけるシートを送付し、会員情報の収集及び発信に努める。
- (4) 協会ホームページに会員専用ページを設け、様々な情報をリアルタイムに掲示することにより、会員に対し速やかな情報提供を可能にするるとともに、会員より発信したい情報を募り掲示することで、会員間のネットワークづくりに活用しているが、一層の会員サービスの向上を図る。

### 4 表彰

観光意識の高揚を図るため、観光事業の振興に貢献のあった個人および団体の表彰を行う。

### 5 共催・後援

京都の観光振興につながる年中行事・催事を中心に共催・後援を行い、各事業のPRに努める。

## VII 関係団体等共同事業 (収益事業等会計 [相互扶助その他])

### 1 広域観光事業

#### (1) 全国京都会議の運営

京都と全国の“小京都”と京都ゆかりの市町で組織している全国京都会議の事務局を運営し、広域的な誘致宣伝活動を実施する。

また、平成29年度は会の発足33年目となり、既に決定している秋田県角館での総会開催に加え、インバウンド向けのPRなど、一層の事業の充実を図る。

#### (2) 大都市観光協会連絡協議会

政令指定都市や大都市の観光協会運営について情報交換を行う。

また、事務主管者会議により一層の相互交流を図る。

### (3) 近隣各市町との広域観光

京都府観光連盟や府内DMO、大津市等と連携し、府域や近接の市町との広域観光の推進を図ると共に、京都総合観光案内所においては、京都府全域の情報収集やポスター、パンフレット等を収集し、利用者へのきめ細かな情報提供を行うことにより京都府全域の観光振興を図る。

### (4) 全国足利氏ゆかりの会

全国足利氏ゆかりの会に引き続き参画し、足利氏の顕彰を図る諸事業を展開する。

## 2 京都観光施設協議会の運営

京都市内及びその近郊の23の観光施設等で構成する「京都観光施設協議会」の事務局を担当し、施設マップ等の共同宣伝用印刷物の発行や誘致キャラバン等、共同して誘致・受入のための諸施策を実施する。

## 3 関係団体等との共同事業

京都市をはじめ、京都府、京都商工会議所、京都府観光連盟などとの連携を深めると共に、関係業界団体に参画し、業界の要望に基づく観光振興の推進を図る。

主な共同事業は以下のとおり。

- (1) 京都は、優れた会議施設と豊富な観光資源を有するコンベンション都市として学術会議を中心にした多くの各種会議等の開催実績があり、ビューローと各種情報を交換するなど連携し、会議誘致の促進に努める。
- (2) 京都ブランド名産品公正取引協議会に参画し、観光土産品の品質向上に努める。
- (3) 京都市まちの美化推進事業団に参画し、観光地美化キャンペーンや美化啓発活動に取り組む。
- (4) 公共交通機関でおこしやす・京都市協議会に参画し、公共交通機関を利用した観光客誘致の促進を図る。
- (5) 嵐山及び東山交通対策研究会に参画し、観光地における交通問題について検討を進める。
- (6) 京都S K Y観光ガイド等市民ボランティアガイドや学生観光ガイド団体との連携の下、京都総合観光案内所「京なび」での観光案内業務や「京の冬の旅」事業をはじめとする各種事業を実施し、観光客の受入案内業務を推進する。

- (7) 京都一周トレイル会に参画し、京都市が設定する京都一周トレイル事業の推進に取り組む。
- (8) 京都市メディア支援センターに参画し、京都各地の画像及び映画やテレビ等の映像を通じて、京都の魅力の発信を推進する。
- (9) 京都創生推進フォーラムに参画し、「京都創生」の実現に向けて、関係する機関及び団体と相互に協力し、活動の輪を広げ、地元京都における京都創生の機運の高揚に取り組む。

また、東京都心を舞台に京都創生PR事業「京あるき in 東京」を京都市、京都商工会議所と主催し、「国家戦略としての京都創生」の発信及び認知向上を図ると共に、京都の観光、歴史、文化の魅力発信により、京都ファンの一層の拡大を図る。
- (10) 京都岡崎魅力づくり推進協議会に参画し、岡崎地域を世界に冠たる文化・交流ゾーンとすると共に更なる賑わいの創出に取り組む。
- (11) 国際観光拠点の形成、更には文化自由都市の創造を実現することを目的に、平成23年12月22日に指定された「地域活性化総合特区」に基づき、引き続き京都市地域活性化総合特別区域協議会に参画し、これまでにない質の高い観光スタイルを提案すると共に、国際的な文化芸術創造の場を提供することにより、「観光立国・日本」を先導し、また多彩な文化交流による国際相互理解の促進を図る。
- (12) 京都マラソン実行委員会に参画し、国際観光都市京都の魅力を国内外に発信すると共に、京都ブランドの向上に取り組む。
- (13) 琵琶湖疏水船下り実行委員会に参画し、明治期の先人たちが築き上げた貴重な産業遺産である琵琶湖疏水を活用し、新たな観光資源を創出することにより、琵琶湖疏水沿線地域の更なる活性化を図る。
- (14) 第68回華道京展に参画し、華道発祥の地である京都華道会の発展と、市民文化の向上を目指す。
- (15) 京都文化カプロジェクト実行委員会に参画し、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、京都の優れた伝統文化や生活文化等が体験できるイベントの開催や情報発信を行い、誰もが気軽に楽しめる文化の祭典となるようオール京都で取り組む。
- (16) 京都学生祭典企画検討委員会に参画し、学生発案企画に対する検討・協力・アドバイス等を行い、互いに連携することにより「学生のまち」京都の更なる活性化を目指す。
- (17) OKAZAKI LOOPS 実行委員会に参画し、ロームシアター京都を中心とした岡崎地域の更なる魅力を引き出すことにより地域の活性化に取り組み、京都における文化芸術の振興発展を図る。
- (18) 京都テロ対策ネットワークに参画し、テロ対策機運の醸成を図ると共に、テロに強いまちづくりを目指し、関係団体等と緊密な連携の下、広報活動や合同訓練

に取り組む。

- (19) 京都市温泉観光活性化協議会に参画し、市内温泉観光の活性化や温泉施設の質の向上による観光客の安心安全の確保を図る。
- (20) ICOM（国際博物館会議）京都大会2019京都推進委員会に参画し、1200年の時を超えて育んだ京都の有形無形の奥深い魅力をPRすると共に、京都大会の翌年に開催される東京オリンピック・パラリンピックへとつなげる取組を推進する。
- (21) 東アジア文化都市2017準備委員会に参画し、東アジアの多様な文化の国際発信力を高めると共に、京都の文化芸術、産業、観光の振興を推進し、継続的な発展を目指す。